

令和4年度第4回理事会議事録

議事録作成者：事務局長 松谷昌典

1 日 時：令和4年11月22日（火） 19：00～22：30

2 場 所：公益社団法人日本パワーリフティング協会 本部事務局
〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋98-16

3 出席者（敬称略、順不同）：

【理事】古城資久、高井隆義、藤谷良弘、寺門浩之、田中彰子、花田祥之、
実島可斉、杉本好二、菅生桃子

※理事総数：13名、本日の出席理事9名

※伊差川浩之、三浦重則、太田勇吉、關本正志は都合により欠席

【監事】安原 徹

※監事総数：2名、本日の出席監事1名

※辻恵は都合により欠席

【陪席】鈴木 光（アンチ・ドーピング委員長）

二宮正晴（技術委員長）

佐々木陽一（国際副委員長）

松谷昌典（事務局長）

理事の高井隆義、藤谷良弘、寺門浩之、田中彰子、花田祥之、実島可斉、杉本好二、菅生桃子、監事の安原徹は電話会議システムを利用することによりこの会議に出席し、質疑・決議を行った。

4 開 会

定刻、古城資久会長（代表理事）が理事会運営規程により議長となり、電話会議システムにより出席者の音声の伝達がスムーズであり、質疑応答に支障がないこと、及び定足数を充足していることを確認したうえで、本理事会を開催する旨を述べ、議案の審議に入った。

5 議 長 古城資久

6 議 事

第1号議案：デンマーク世界パワー旅行社の追認

令和4年11月14日至19日、デンマーク（ヴィーボ）で開催される2022世界パワーリフティング選手権大会の旅行社選定について、議場に諮られた。審議の結果、総合評価においてエース航空社が選定され、出席理事全員一致で追認された。

第2号議案：ドバイアジアクラシックパワー旅行社の承認

令和4年12月1日至7日、アラブ首長国連邦（ドバイ）で開催される2022アジアクラシックパワーリフティング選手権大会の旅行社選定について議場に諮られた。審議の結果、総合評価においてカールズ社が選定され、出席理事全員一致で承認された。

第3号議案：賛助会員制度及び用具用品の公認の見直しについて

(1) 用具や公認器具について

「パワーリフティング用器具類の公式認定に関する規程」において、バー、プレートの器具ほか、リフティングスーツ、ベンチプレスシャツ、ベルト等の個人装具について、業者が賛助会員としてJPA登録していない場合、IPF公認品であってもJPA公式認定は受けられず、公認大会での使用が禁止されている。今後、IPF公認の除外によって使用禁止にされることが協会運営上好ましいのか、加盟都道府県協会からの意見も参考に以下の旨の検討がなされた。

(ア) バー、プレートについて、都道府県協会の現状を鑑み、耐用年数や運用のしやすいルールづくりの観点から意見交換が行われた。過去のIPF公認品であって現行ルールに合致していれば、IPF公認除外の年から15年以内の期限を定めて国内使用を認めることと、日本記録を認定しない競技会においては主催協会の判断により15年を超過した器具についても使用を容認する案が提案された。審議の結果、提案は出席理事全員一致で承認された。

(イ) スクワットラック、ベンチプレス台について、賛助会員でなければ公式認定を受けることができず、賛助会員を外れた場合には公認大会での使用を禁止する運用を行なっている。公式認定はIPFルールに合致し、国内PL法をクリアしているかなどを確認しているものであり、前項（ア）の議論と同様に賛助会員から外れた場合においても、15年以内であれば国内使用を認めることと、日本記録を認定しない競技会においては主催協会の判断により15年を超過した器具についても使用を容認する案が議場に諮られた。審議の結果、原案は出席理事全員一致で承認された。

(ウ) リフティングスーツ、ベンチプレスシャツ、ベルト等の個人装具について、使用の定義確認がなされた。国内では、スクワットスーツ、ベンチシャツ、デッドリフトスーツ、エレクトロシャツ、バンテージ、リストラップ、ニー SleevesについてはIPF公認品であること、シングレット、ベルト、靴下、靴、TシャツはIPF及び国内ルールに準拠していることが使用条件で、国内における運用についての確認がなされた。記録向上に関連性の高い個人装具はIPF公認品、それ以外はルール準拠が条件となっているが混乱がみられるため、次回理事会までにルール、規程、通達の整合性を図り、関係者向けに周知することとなった。

(2) 賛助会員制度について

今後の賛助会員のあり方について検討がなされた。協会は選手に対して優越的地位にあり、選手個人に不利益を与えない協会運営を行うことが重要である。当協会を純粋に応援する制度であることを全面的に出すため、賛助会員の優遇措置や独占的地位をなくすことが議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で方向性の承認がなされた。次回理事会までに賛助会員規程の見直しを行うものとする。

第4号議案：アメリカ合衆国オクラホマ州在住の日本国籍を有する15歳女性選手（パワーリフティングアメリカ所属）親族からの問い合わせについて
日本国籍を有し、かつパワーリフティングアメリカ所属のサブジュニア選手について、佐賀のジャパンクラシックパワー大会へ出場希望がなされた。母親の実家が長崎県にあり、日本訪問の機会を得たいという理由からであった。昨今は国際的な社会となっており、本件は個別対応する検討がなされた。現在は他国に登録してある選手であることから、パワーリフティングアメリカに出場許可を得た上で、日本記録認定及び日本代表選考を除外してオープン参加させる案が提案された。出場標準記録についてはIPF加盟団体傘下の団体が主催主管するものであれば読み替えることとする。審議の結果、オープン参加案は出席理事全員一致で承認された。なお、日本への移籍を希望する場合は妨げないものとする。

第5号議案：佐賀ジャパンクラシックパワー大会器具購入について
令和5年3月17日至19日、佐賀県基山町で開催されるジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会において導入する大会器具について議場に諮られた。大会開催に必要なスクワットベンチラック、シャフト、組プレート、プレートラック、検量用体重計について購入検討がなされた。審議の結果、スクワットベンチラック、シャフト、組プレートについてはIPF公認品で最も安価なONI社が選定された。他品に関しては提示の見積もり内容で購入すること出席理事全員一致で承認された。

※菅生理事が会場セキュリティ都合で退席、以降理事8名で審議を継続した。

第6号議案：役員選考（理事等）の案内について
令和5年度提示社員総会において予定されている役員改選について、各加盟団体へ送付する通知文案が議場に諮られた。理事、アスリート委員、ブロック長、ブロック技術委員長の選出を依頼するものであり、役員選考規程に合致していれば再選は妨げないものである。令和5年6月4日（日）を総会日とし、締切日を逆算したものである。文書は年末を目処に発出予定である。審議の結果、通知文案は出席理事全員一致で承認された。

第7号議案：アンチドーピング委員会提案事項について

- (1) 12月18日（日）東京都パワーリフティング協会主催の世田谷ベンチプレス大会において、アンチドーピング講習会の開催要望がなされた。講師は鈴木光氏とし、主催協会より諸謝金等が支弁

されるものである。審議の結果、アンチドーピング講習会開催案は出席理事全員一致で承認された。

- (2) サプリメントと漢方薬について、アンチドーピング講習会や大会申し込み時に問い合わせのあった商品や薬について、販売元へ問い合わせを行い、得られた結果の報告がなされた。成分の問題から、サプリメントについては海外製を使用することを許さず、漢方薬については使用を控えるように求めるものである。今後、通達を作成し、関係者向けに周知するものとする。

第8号議案：技術委員会提案事項について

- (1) 国民体育大会公開競技の出場人数について

現在の登録人口及び過去大会の記録をもとに、女性出場者枠の増加について検討がなされた。検討の過程において、絶対重量を競うスポーツであり、公開競技本大会まで短期間に複数回大会へ出場する負担の軽減を考慮し、男性については都道府県で選考、女性については登録人口が僅少でありブロック大会で選考する案が提示された。今後アスリート委員会と意見交換を行い、次回理事会において継続審議することとなった。

- (2) 技術委員会委員の追加について

プロフィール及び施術委員長推薦状が提示され、兵庫県協会所属の高垣慶子氏を技術委員会の委員として追加することが議場に諮られた。審議の結果、技術委員会へ高垣氏を追加すること、出席理事全員一致で承認された。

- (3) 次年度沖縄県で開催される全日本パワー大会の審判員募集について

二宮技術委員長より実島ブロック長に対して審判員募集の応援依頼がなされた。近年はウェブによる審判育成講習会を開催しており、ブロックごとの審判員数も増加がみられている。審判業務のみで遠方へ出向くことは、現状旅費が支弁されないため経済的負担が大きく、依頼をかける側としても心許ない。九州沖縄ブロックにおいて13人の審判を集めることを目標とし、沖縄県で開催される全日本パワー大会では近隣在住の審判員で審判業務を行うように体制整備を目指すものとする。

第9号議案：50周年記念誌購入の追認

JPA50周年記念誌の作成について、原稿回収の進捗が大幅に遅れていたこと及び、編集や校正作業の都合から、手続きが簡略な随意契約で制作を行った。小野高速印刷株式会社（兵庫県）、フルカラー、ハードカバー、2冊組250部、@11,400円、2,850,000円であった。審議の結果、記念誌購入は出席理事全員一致で追認された。

第10号議案：コーチ1講習会について（利益相反取引の承認）

令和5年1月21日（土）至22日（日）兵庫県明石市で開催するコーチ1講習会について、講師を務める実島理事及び受付案内を行う田中理事に対し、旅費及び諸謝金規定に基づき諸謝金を支払うことが議場に諮られた。審議の結果、実島理事及び田中理事を除く出席理事全員一致で

承認された。

その他議案：(1) ガバナンス講習会開催について

顧問弁護士によるガバナンス講習会（日本スポーツ振興センターくじ助成事業）について12月5日（月）並びに8日（木）、共に18時半から19時半の時間帯においてWEBで開催する原案が議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

(2) 創立50周年記念表彰候補者選考委員会設置規程の廃止

創立50周年記念式典において表彰する候補者を選考する規程について、本来の目的を達成したため廃止にすることが議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

(3) 一般財団法人日本スポーツ政策推進機構入会依頼について

日本スポーツ協会を經由し、一般財団法人日本スポーツ政策推進機構の入会依頼が到達した。当該の団体は2020年に発足した団体である。監事より、会費が無料であることから設立経緯や定款についてチェックしておくべきである旨の助言がなされた。審議の結果、監事による内容チェックで問題が見つからなかった場合、入会をすることが出席理事全員一致で承認された。

(4) JPAの取り組みのセルフプロデュースについて

JPAの取り組みについて知らない関係者やセルフプロデュースについて、何らかの方法を用いて周知することが議場に諮られた。ホームページを使った広報以外にSNSのほか雑誌媒体などを用い、ホームページを見る層と異なるセグメントへアプローチすることを狙うものである。雑誌掲載価格等をリサーチし、次回理事会で検討することとなった。

報告事項

(1) JPA登録状況について

2022年11月までの登録状況を整理した年代別人口ピラミッド図が提示された。登録総数は4,147件あり、中央値は36歳、頻出値は20歳であった。男女比率は男性86%対女性14%であった。男性を年代別で見ると20代及び30代で全登録の52%を占めており、今後は若年層に向けた施策及び、女性増加の施策を検討することが当協会の発展に寄与するものと考えられる。今後の事業計画、中長期計画の改訂のための重要な資料となるものである。

(2) ジャパンゲームズの概要報告

日本スポーツ協会より、ジャパンゲームズの概要が公表された。スポーツ少年団、国民体育大会、スポーツマスターズのタイトルがジャパンゲームズに改められるものであるが、本旨はスポーツ活動に求められる新たなあり方を創造し、今まで以上にアミューズメント性を加味する旨である。公開競技やスポーツマスターズ記念事業については未定であるが、今後JPAはスポーツを楽しむ場として整備することが必要であろう。

(3) JOC会長会議の報告

会長よりJOC会長会議の報告がなされた。スポーツとお金について、オリンピックの問題に言及されていた旨の報告がなされた。

(4) 次回理事会

令和5年1月12日(木) 19時からWEBにて

以上をもって、電話会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく全議案の審議を終了したので、議長は22:30に閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、出席会長(代表理事)及び監事が次に署名又は記名押印する。

令和4年11月22日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

会 長
(代表理事)

古城 賢久



監 事

安原 徹

